

R2年度 放課後等デイサービス評価結果（事業所向け評価結果） 13人分

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している所など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	4	1	・日や利用者様によっては運動できるスペースがほしいと思う。 ・狭いと思う時がある。
	② 職員の配置数は適切であるか	12	1		・休日など子供の人教が多くなる場合、他指導員に連絡をし、来られるかどうか等聞いている。 ・1人1人の利用者様を見守るために必要な人数が配置できている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1		・車椅子にも対応することができている。
業務改善	④ 業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	5	8		・情報共有をより多くのスタッフに、より早くできると良い。 ・ミーティングを行い、スタッフ同士で確認している。
	⑤ 保護者向け評価を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	3		・アンケートは実施できているが、普段の営業で意識はあまりできていないと思う。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	4		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	7	1	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	9		・リーダーが研修情報を提供してくれている。 ・スタッフ全員が基礎を確認する研修が年1回あると良い。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	1		・半年に1回面談を行い、個別支援計画書を更新している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	6		・標準化されたツールは使用していない。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	2		・スタッフの得意なこと(イラスト、ダンス、筋トレ)を活かして活動に取り入れている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	11	2		・季節ごとの活動やPTの先生が考えた活動もある。 ・週ごとに活動(集団での)がかわるようにしている。 ・スタッフの得意なこと(イラスト、ダンス、筋トレ)を
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めて細やかに設定して作成しているか	8	5		・各利用者様に合わせて目標を設定しているが、平日、休日、長期休暇の区別はない。

	チェック項目				
適切な支援の提供	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			面談時に保護者様に相談している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	2		・次回の目標を指導員同士で共有することができるので、気付いた人が支援、指導できる。 ・利用者様の支援目標、最近の様子を記録をもとにして確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	7	1	・残っている指導員でしか話ができない。 ・記録、共有で次に繋げている。 ・支援に入ったスタッフが送迎業務も行っている為、難しい時もある。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13			・どのスタッフも支援目標だけでなく、遊びや会話なども記録している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	4		・保護者様との面談・モニタリング等の後、個々の計画の見直しを行っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	9		・「ガイドラインの総則の基本活動」を確認する。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	11	2		
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	5		・始まる前に、送迎時間などに変更があった場合教えてくれる。 ・年度はじめに学校の年間計画等の情報提供を依頼できると良い。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	10		
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	7		・必要がある時のみ情報交換をしている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	9		・必要がある時のみ情報交換をしている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	4	7	2	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	8	3	・公園等に出掛けた時に交流する機会がある。
㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	10	1		

チェック項目					
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2		・送迎時、デイでの出来事等を話している。 ・保護者様と面談、連絡帳にて様子を伝えあっている。 ・連絡帳を通じて様子を細かく伝えている。
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	2	10	1	
保護者への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	2		
	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	3		・面談、連絡帳、送迎時等、話す機会を保っている。
	㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	8	4	
	㉕ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	5		・周知は行えていない。 ・対応は適切だと思う。
	㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	4		
	㉗ 個人情報に十分注意しているか	11	2		タッフミーティングの中で話す機会を作っている
	㉘ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	10	3		
	㉙ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	9		
非常時等の対応	㉚ 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	5		・保護者様への周知を年1回行えると良い。
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出その他必要な訓練を行っているか	12	1		集団活動の時間を使って定期的に行っている。
	㉜ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	9		研修は行っていない。
	㉝ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	7		・契約時に説明している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している所など
④②	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている か	8	5		・医師の指示書ではなく、保護者様の指示に よって対応している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内 で共有しているか	4	9		・ヒヤリハット報告書は作成しているが共有はあま りできていない。